取組と目標に対する自己評価シート(フェイスシート)

タイトル 高齢者の社会参加活動支援(ボランティアの養成、育成支援)

現状と課題

赤平市は人口の減少、少子高齢化がすすみ、高齢者人口は平成27年度をピークにゆるやかに減少 している。高齢者を支える若い方の減少が進む中、一人暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯の割合は年々 上昇しており、地域全体で支える仕組みが急務となっている。

そこで、健康でお互いに支え合い、孤立する人がいない地域を目指して活動するボランティア「エ リアサポーター」の養成講座を平成28年度から実施し、毎年養成講座を開催している。

「エリアサポーター」は市内6地区に分かれ活動するが、地域の見守りやお茶会サロンなどの交 流の場つくり、介護予防体操(ゆるげん体操、ふまねっと運動等)の実施、高齢者支援の担い手を 期待している。

第7期における具体的な取組

- ①エリアサポーター養成講座の実施
- ②エリアサポーターの育成支援
- ③生活支援コーディネーターの支援

目標(事業内容、指標等)

平成30年度 令和元年度 令和2年度

エリアサポーター養成講座 受講者数

20 人

20 人

20 人

目標の評価方法

- 時点
 - 口中間見直しあり
 - ■実績評価のみ
- 評価の方法
 - エリアサポーター養成講座の受講者数を計上。

(全ての回を受講し、エリアサポーターとして登録していただい方のみを計上する)